

## 第 17 回国際科学技術関係大臣会合について ”The 17<sup>th</sup> Science and technology Ministers’ Roundtable”

1. 日 時：令和 2 年（2020）年 10 月 3 日（土） 20:00～21:30
2. 形 態：オンライン開催
3. 出席者：世界 37 ヶ国の科学技術大臣等（日本を含む：別紙参照）
4. テーマ：  
「人類にとっての大きな脅威に対処するための科学技術イノベーション  
～ 国際共同研究、人文・社会科学、オープンサイエンス（論文・データ）の  
役割～」
5. 結果概要
  - (1) 井上科学技術政策担当大臣が会議の議長を務めた。冒頭、井上大臣から出席各国に対し挨拶を行い、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に対して、哀悼の意が表された。  
その上で、5 月の G7 科学技術大臣会合での新型コロナウイルス感染症に関する公的資金による研究論文・データ公開に関する合意などに言及しつつ、感染症や大規模自然災害などの脅威に対処するための科学技術イノベーションの在り方を議論する旨、説明があった。
  - (2) ガブリエル欧州委員、アンドリュース産業・科学技術大臣（豪）、ヌジマンデ高等教育・科学イノベーション大臣（南ア）、デラ・ペーニャ科学技術大臣（フィリピン）、柳政策統括官（科学技術・イノベーション担当）より、議論を促進するためのリードスピーチが行われ、日本からは、以下の取組を紹介した。
    - 新型コロナウイルス感染症研究に係る論文・データの公開を含む、G7 科学技術大臣宣言の採択（5 月）（オープンサイエンスの推進）
    - スーパーコンピューター「富岳」計算資源の無償での国際的な開放（国際共同研究の推進）
    - 科学技術イノベーションの振興に関する法律改正（人文・社会科学の知

見も総動員した知の探究の促進)

(3) 上山総合科学技術・イノベーション会議議員による進行のもと、本会合のテーマに沿って、出席国における取組等について意見交換が行われた。各国からは、下記のような発言があった。

- 新型コロナウイルス感染症の流行により、科学技術イノベーションの政策アジェンダにおける重要性が一層増大した。また、科学技術イノベーションの成果は、包摂性や持続可能性を備えるべき。
- 国際協力がこれまで以上に重要であり、特に、国際共同研究、論文・データ等の研究成果を広く利活用するオープンサイエンスの推進が重要である。
- 革新的な成果を得るために、社会科学や人文科学も含めた学際的なアプローチを推進することが不可欠である。

(4) 上山総合科学技術・イノベーション会議議員から意見交換の総括が行われ、ポストコロナの世界において、科学技術イノベーション分野での国際協力を一層強化する必要があるとあり、この際に包摂性を重視すること、また、行動科学をはじめとした人文・社会科学の重要性を認識すべきこと、オープンサイエンスの促進による科学的知見の広範な共有が重要であることなどについて共有した。

(5) 最後に井上大臣から閉会挨拶が行われた。

## 第17回国際科学技術関係大臣会合 出席者リスト

(2020年10月3日(土) 20:00-21:30(日本時間))

番号.	国名	氏名	職名
1.	アフガニスタン	アフマド・マスード・ラティフ・ライ	通信・情報技術省政策・プログラム副大臣
2.	アンゴラ	マリア・ド・ロザリオ・ブラガンサ・サンボ	高等教育・科学技術イノベーション大臣
3.	アルゼンチン	ロベルト・サルバレツァ	科学技術イノベーション大臣
4.	オーストラリア	カレン・アンドリュース	産業・科学技術大臣
5.	アゼルバイジャン	ラミン・グルザデ	運輸・通信・先端技術大臣
6.	ボスニア・ヘルツェゴビナ	スルジャン・ラジェビッチ	科学技術開発・高等教育・情報社会大臣
7.	ブラジル	マルコス・セザール・ポンテス	科学技術イノベーション・通信大臣
8.	カナダ	モナ・ネメール	政府首席科学顧問
9.	コロンビア	メイベル・ギセラ・トレス・トレス	科学技術イノベーション大臣
10.	コスタリカ	パオラ・ベガ・カスティージョ	科学技術・通信大臣
11.	ドミニカ	カッサーニ・ラヴィール	公共事業・デジタル経済大臣
12.	エクアドル	オーガスティン・アルバン・マルドナド	高等教育・科学技術庁長官
13.	エジプト	ハーレド・アブデル・ガッファール	高等教育・科学研究大臣
14.	欧州連合	マリヤ・ガブリエル	欧州委員（イノベーション・研究・教育・青少年担当）
15.	ジョージア	ミヘイル・チヘンケリ	教育・科学・スポーツ大臣
16.	ハンガリー	ヨーゼフ・ボーディス	高等教育・イノベーション・職業教育担当副大臣
17.	インド	アシュトシュ・シャルマ	科学技術次官
18.	インドネシア	バンバン・ブロジョネゴロ	研究・技術大臣
19.	イラン	ホセイン・サラール・アモリ	国際科学協力大臣代理
20.	日本	井上 信治	内閣府特命担当大臣（科学技術政策担当）

21.	ラトビア	イルガ・シュプリンツカ	教育大臣
22.	リビア	ムハンマド・アンマーリ・ザイード	執行評議会副首相（兼教育大臣）
23.	モルディブ	モハメド・マリーフ・ジャマール	通信科学技術大臣
24.	モーリシャス	リーラ・デヴィ・ドゥカン・ラチュマン	副首相(兼教育・高等教育・科学技術大臣)
25.	ミャンマー	ミョー・テイン・ジー	教育大臣
26.	ノルウェー	ヘンリック・アスヘイム	研究・高等教育大臣
27.	ペルー	ファビオラ・マリア・レオン・ヴェラルデ・セルベット	科学技術革新評議会議長
28.	フィリピン	フォルチュナト・デラ・ペーニャ	科学技術大臣
29.	カタール	イブラヒム・アル・ナイミ	教育・高等教育省次官
30.	ロシア	セルゲイ・リュリン	科学・高等教育副大臣
31.	サウジアラビア	ハマド・ビン・ムハンマド・アル・シェイク	教育大臣
32.	スロバキア	シュドヴィート・パウリス	教育・科学・研究・スポーツ省副大臣
33.	スロベニア	ジュレ・ガスパリッチ	教育・科学・スポーツ省副大臣
34.	南アフリカ	ブレード・ヌジマンデ	高等教育・科学イノベーション大臣
35.	スペイン	ペドロ・ドゥケ	科学イノベーション大臣
36.	スイス	マルティナ・ヒラヤマ	教育研究イノベーション庁長官
37.	ウズベキスタン	イブロキム・アブドゥラフモノフ	革新的開発大臣